



ソラ保育園おかやまだより

平成19年5月

木々の緑も一段と鮮やかな季節です。優しく暖かい日差しの中、笑顔をキラキラ輝かせて元気いっぱいあそんでいる子どもたちです。

保育室の窓や園庭から見えるこいのぼりに大はしゃぎ！！これからも、こいのぼりのようにのびのびと大きく育ってほしいと思います。



今月の行事

- 10日(木) 発育測定
- 16日(水) 誕生会



お花見に行ったよ！！

保育園の近くの公園に桜の花がきれいに咲いていました。歩いたり、避難車に乗って、お散歩に出かけました。桜の木の下で、みんなで“ハイ、チーズ！”と写真を撮りました。そのあとは、滑り台をしたり、鉄棒をしたり、桜の木の下でかくれんぼをしたりして、元気いっぱいあそびました。楽しく過ごしたひと時でした。



5月生まれのおともだち

- 11日 まきもと りょうま くん (1さい)
 - 13日 きたむら たかひろ くん (4さい)
- 楽しくお祝いしたいと思います。



今月のうた

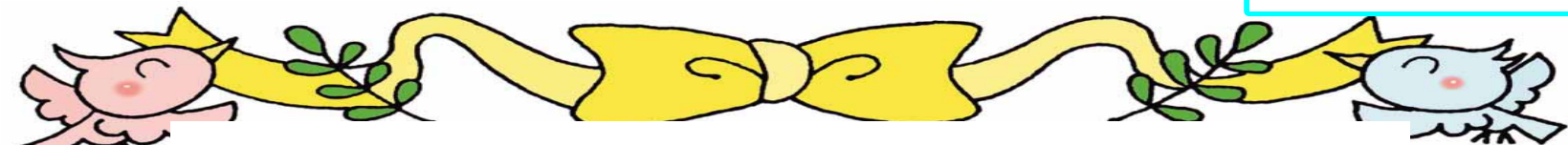
こいのぼりー

やねよりたかい こいのぼり
 おおきまごいは おとうさん
 ちいさいひごいは こどもたち
 おもしろそうに およいでる

おかあさんー

おかあさん なあに
 おかあさんって いいにおい
 せんたくしていた においでしょ
 しゃぼんのあわの においでしょ

おかあさん なあに
 おかあさんって いいにおい
 おりょうりしていた においでしょ
 たまごやきの においでしょ



「やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもはやさしい子に育つ」

人を思いやるとは、その人を敬い、やさしくすることです。人を思いやることは、ありのままのその人を受け入れ、その人の気持ちを尊重し、ときには自分の気持ちよりも優先させることなのです。

- 思いやりの心を育てる -

子どもは、一人ではなかなか思いやりの重要さを学べません。親が導かなくてはならないのです。思いやりの心は、子ども時代に学ばなければなりません。大人になってからではとても苦労してしまうことでしょう。

子どもは両親の関係を見ている -

相手を思いやる気持ちは、ちょっとした仕草や口調に表れるものです。たとえば、わたしたちは「ありがとう」「悪いね」「ごめんなさい」といったやさしい言葉を日頃から口にし、互いに助け合って暮らしているのでしょうか。そんなお父さん、お母さんの姿を見て育てれば、子どもは、それが人と人との付き合い方だと思えるようになるのです。

人を敬うことのできる人間は、人からも敬われます。そんな大人になれるように、親は子どもを敬い、思いやりを育てたいものです。

毎日の暮らしのなかで、ほんのささいな親切や思いやりこそが、人生の大いなる幸福につながるのです。



お願いー

欠席される時に連絡がなくて、お弁当を注文する時などに困ってしまいます。欠席や遅れて登園される場合は、**9時30分までに必ず連絡をお願いします。**(昼食注文の都合上)又、夕方から登園の方は、**16時までに連絡をお願いします。**(夕食注文の都合上)

又、**早く迎えに来られる場合も必ず連絡をお願いします。**(連絡がないと降園の準備が出来ません)

子どもたちの、**衣服、持ち物などには必ず、お名前を書いて持ってきて下さい。**(名前がないと、誰のかわからなくなってしまうことがあります)

宜しくお願い致します